

令和7年12月18日

白岡市議会議長 中川幸廣様

広聴広報常任委員長 尾嶋一雄

### 広聴広報常任委員会調査中間報告書

本委員会に付託の調査事件について、白岡市議会会議規則第47条第2項の規定により別紙のとおり中間報告いたします。

#### 調査事件名

- 議会広報の編集及び発行等に関する調査

# 広聴広報常任委員会調査中間報告書

1 調査事件名 議会広報の編集及び発行等に関する調査

2 調査の経過

(1) 委員会開催日

ア 令和7年1月14日（火）

議会だより2024年12月定例会号（No.226）について

イ 令和7年2月20日（木）

議会だより2025年1月臨時会及び3月定例会号（No.227）について

ウ 令和7年3月12日（水）

議会だより2025年1月臨時会及び3月定例会号（No.227）について

エ 令和7年3月24日（月）

議会だより2025年1月臨時会及び3月定例会号（No.227）について

オ 令和7年4月7日（月）

議会だより2025年1月臨時会及び3月定例会号（No.227）について

カ 令和7年6月17日（火）

議会だより2025年6月定例会号（No.228）について

キ 令和7年6月30日（月）

議会だより2025年6月定例会号（No.228）について

ク 令和7年7月11日（金）

議会だより2025年6月定例会号（No.228）について

ケ 令和7年8月8日（金）

（仮称）議会報告会について

コ 令和7年9月9日（火）

議会だより2025年7月臨時会及び9月定例会号（No.229）について

サ 令和7年9月17日（水）

議会だより2025年7月臨時会及び9月定例会号（No.229）について

シ 令和7年9月30日（火）

議会だより2025年7月臨時会及び9月定例会号（No.229）について

ス 令和7年10月16日（木）

議会だより 2025年7月臨時会及び9月定例会号(No.229)について

市民と議会のつどいの概要の検討について

セ 令和7年12月5日（金）

議会だより 2025年10月臨時会及び12月定例会号(No.230)について

調査中間報告書作成

ソ 令和7年12月16日（火）

議会だより 2025年10月臨時会及び12月定例会号(No.230)について

(2) 議会だより発行

ア 令和7年2月1日発行

議会だより 2024年12月定例会号 (No.226) 全16ページ

20, 030部

イ 令和7年5月1日発行

議会だより 2025年1月臨時会・3月定例会号 (No.227) 全18ページ

20, 070部

ウ 令和7年8月1日発行

議会だより 2025年6月定例会号 (No.228) 全8ページ

20, 100部

エ 令和7年11月1日発行

議会だより 2025年7月臨時会・9月定例会号 (No.229) 全14ページ

19, 900部

(3) 委員派遣

議会広報の充実を図ることを目的に、次の研修に細井委員を派遣した。

ア 派遣研修名 埼玉県町村議会議長会 令和7年度議会広報研修会

イ 派遣年月日 令和7年11月4日（火）

ウ 派遣場所 埼玉県県民健康センター

エ 概要

一般財団法人埼玉県コミュニケーションセンター理事長芳野政明氏による「議会の見える化と住民参加・協働～議会広報の企画と編集、認知・信頼関係の構築～」と題した講義がなされた。講義の後、「議会広報クリニック」と題して、事前に

申込みのあった市町議会の議会広報紙に対し、講師から講評がなされた。

前半の「議会広報の企画と編集、認知・信頼関係の構築」の講義内容は、次のことおりである。

議会広報の役割は、議会の「見える化」を進め、「開かれた議会」から住民参画、協働を推進するため、議会の役割、存在感を高めることにある。そのためには、「読まれ、伝わる広報紙」が不可欠である。

住民代表として多数の議員からなる地方議会は、民意を行政に反映させる住民自治の「窓口」であり、議会の諸活動が住民に伝わり、内容が理解され、批判や賛同の応答が共有される関係は地方議会制度に欠かせない。

議会広報及び広聴は、自治推進のための双方向コミュニケーションであり、議会広報は、住民参加、行動を「促す」ツールになることが求められることから、「読まれる議会だより」を意識して編集することが肝要である。

「読まれる議会だより」には、企画・編集両面の向上が必要である。

① 読み手の興味・関心を喚起する企画テーマ・切り口の重要性

議会だよりの4大企画として、「議案審議の公開」「一般質問の報告」「議会活動の報告」「住民意見の反映」があり、それに加え、地域の重要課題や特定のテーマを深堀りする「特集」、市民登場などのシリーズ企画があることが望ましい。

② 読まれる紙面への編集スキルの向上

見出しが的確であることが、読者の関心を引き、視線誘導をする上で肝要である。

また、視覚要素・図表・見出しなどの工夫や、余白の活用による「ツカミ」のある紙面づくりを意識することが「読まれる」ために必要である。

さらに、専門用語やカタカナ用語を控え、解説を付けるなど、「わかりやすい記事」を書くことで、「読みたくなる紙面」に進化する。

後半の「議会広報クリニック」では、杉戸町議会、熊谷市議会の議会広報紙が取り上げられ、講師による講評がなされた。

## オ 所感

本研修を受講し、当市において今後改善できそうなものとして、「一般質問ページ等で、議員の氏名にふりがなを付加する」「市民の紙面参加の推進」が挙げられる。「市民に寄り添った読みやすい広報紙」にするために、広聴広報常任委員会で改善できることを協議していきたい。

### (4) 新たな取組

議会改革・活性化に関する取組の一つとして、白岡市議会委員会条例が改正され、令和7年6月1日付けで当委員会の名称は「議会広報常任委員会」から「広聴広報常任委員会」に改まり、所管事項に「議会の広聴に関する事項」が追加された。

これに伴い、広聴に係る取組として、「市民と議会のつどい」を当委員会の企画・運営により開催した。従来、実行委員会を組織して「議会報告会」の名称で開催していたものを当委員会が継承し、より親しみやすい名称に改めたものである。

その概要は、次のとおりである。

ア 日 時 令和7年10月26日(日) 午後2時から4時30分まで

イ 会 場 白岡市コミュニティセンター 2階 集会室1・2

ウ 出席者 市民18名、市議会議員18名

エ 内 容

(ア) 第1部 議会の報告（市庁舎火災関連）

(イ) 第2部 市民と議員との意見交換（テーマ別）

・テーマA 「みなさんの公共施設のこれから」

・テーマB 「私たちにできる防災」